

令和7年度事業報告

令和7年度の当センターの事業実績としては、前年度に比べ請負の受注額は4.2%の減少となりました。派遣の受注件数は変わらず受注額は-2.0%の減少となりました。登録会員数は13人減となり、依然、減少傾向が続いている状況です。

こうした中、独自事業の実施に向けては、市民を対象とした初心者向けパソコン講習会を計画しましたが、参加人数不足により開催できませんでした。今後も事業化に向け検討を進めていきます。

また、会員の退会抑制を図り会員増を進めていく取り組みとして、引き続きゴールド会員制度、夫婦会員会費割引制度の周知を図り、会員優待割引制度（シルバーフレンドリーショップ制度）は、協力店舗の募集が整い、令和7年4月1日から実施しました。

フリーランス法の対応として、令和8年4月から新契約方式に変更になるため、主な発注先へ訪問し資料の配布と新契約への理解を求めました。また、本年度が初年度となる「第4次基本計画」の各施策に取り組むとともに、シルバー事業の発展と地域の期待に応え、今後も会員の生きがいの充実や魅力あるセンターを目指し、センターの運営に取り組んでいます。

また、経費の効率的な執行に努めるなど、財政健全化を進めながら、登別市の協力を得て事業の適正な運営に努めました。

以下、各部会等が実施した事業について、報告いたします。

◎請負・委任

区 分	令和7年度	令和6年度	比較増減	対前年増減比
登 録 会 員 数	260 人	273 人	-13 人	-4.7%
受 注 件 数	1,409 件	1,520 件	-111 件	-7.3%
受 注 金 額	132,348 千円	138,145 千円	-5,797 千円	-4.2%

◎シルバー派遣

区 分	令和7年度	令和6年度	比較増減	対前年増減比
就 業 延 人 員	1,763 人	1,814 人	-51 人	-2.8%
受 注 件 数	6 件	6 件	0 件	0.0%
契 約 金 額	18,005 千円	18,384 千円	379 千円	-2.0%

1. 会員の拡大

シルバー人材センターは、高齢者が就業を通して地域社会に貢献し、高齢者の生きがいや居場所づくりとして、重要な役割を担っていますので、積極的に会員の拡大を図りました。

(1) 入会促進

①会員の口コミによる入会促進

- ・ 会員と役職員で協力し合い、口コミ等による「会員ひとりが一人の加入促進」運動を全会員に協力を依頼し、会員入会の促進に努めました。
- ・ 口コミ等による「会員ひとりが一人の加入促進」運動の勧誘活動の協力については、会報誌「よろこび」に全会員を対象とした協力依頼を掲載するなど、取り組みを進めました。

②女性会員増の取組

- ・ センターが女性会員に提供する就業については、清掃作業が主であることから、清掃以外の希望する就業の確保に努めたが、新たな職種の受注には繋がらなかったため、今後も継続した取り組みを進めます。

③入会申込方法やPR用ポスターの改善

- ・ 毎月第2木曜日開催の入会説明会の日程を記載した会員募集ポスターを、一般市民の目に留まりやすいよう市内24施設に掲示しました。また、市広報紙「のぼりべつ」に毎月の説明会実施掲載の依頼を行い、会員の入会促進に努めました。
- ・ 入会説明会を受けてから入会申し込みをするまでの期間が短いことから、余裕をもって申込みができる期間の設定を今後検討することとしました。
- ・ 会員募集ポスターの見直しを検討し、令和8年度から実施することとしました。
- ・ 登別市主催の「かるやか元気塾」で新規会員の入会促進を図るため、シルバー人材センターのPR活動を行いました。

7月2日（水）、9月2日（火）、9月4日（木） 計3回

④ショッピングセンターなどにおけるシルバー事業のPR

- ・ シルバー事業の活用と新規会員の加入促進を目的に10月のシルバーの普及啓発活動の日として、大型店舗でパンフレット等を配布する活動を行いました。

実施日 令和7年10月7日（火） 10:00～11:00

参加人数 25名

イオン登別498部、コープさっぽろしがイースト店225部

アーニス店247部、コープさっぽろのぼりべつ桜木店156部

トライアル登別栄町店164部、コープさっぽろのぼりべつ東町店77部

配布部数合計 1,367部

- ・ 市広報紙「のぼりべつ」の令和7年9月号にパンフレットの同時配布を依頼しました。また、登別ショッピングセンターアーニス店内に、パンフレット及び会報「よろこび」の設置を依頼し、会員の増加及び受注の拡大を図りました。
- ・ 公共施設10施設に会報「よろこび」及びパンフレットを設置しました。

⑤企業等への働きかけによる定年退職者層（予定）の入会促進

- ・ 未実施のため今後、取り組みを進めます。

⑥夫婦会員割引制度の促進

- ・ 会報「よろこび」、会員募集のポスターなどに掲載するとともに、定時総会でPR活動を行い、夫婦会員の入会促進に努めました。

令和7年度 1組

⑦月別入会者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男性	2	0	1	1	4	1	0	1	1	2	2	0
女性	1	2	0	1	1	0	1	0	0	0	1	1
合計	3	2	1	2	5	1	1	1	1	2	3	1
男性：15名 女性：8名 合計：23名												

（2）退会抑制

①未就業会員への就業相談及び就業促進

- ・ 会員の就業機会の公平化を図るため、可能な限り就業のローテーション化を図り、就業人員の拡大に努めました。
- ・ 就業の促進を図るため未就業会員の職業相談等を通して就業経験のない仕事へのチャレンジを呼びかけるなど、就業のミスマッチ防止、解消に努めました
- ・ 新入会員が不安なく就業できるよう、接遇研修・就業相談を実施しました。

○1回目（上期入会者） 令和7年10月21日（火） 参加者 5名

○2回目（下期入会者） 令和8年3月13日（金） 参加者 6名

- ・ 外部講師による全会員を対象とした、接遇研修を実施しました。

実施日 令和7年11月25日（火）

場所 登別市民会館 大会議室

講師 伊藤 美奈 氏

参加人数 30名

- ・ 会員の技能・技術等の向上を図るための技能講習会の案内を全会員へ配布しました。

②ゴールド会員制度の促進

- ・「ゴールド会員制度」を会報「よろこび」での案内及び定時総会でPRし促進に努めました。

令和7年度 2名

③会員優待割引制度の導入

- ・ 「会員優待割引制度（シルバーフレンドリーショップ制度）」について、ホームページでの案内及び定時総会でPRに努めました。

(3) 活気あるセンターづくり

①会員交流の促進

- ・ 地区別懇談会を開催し、情報提供や会員の意見要望を聴取して組織の活性化に努めました。

開催日	場所	班	参加人数
R8.2.18	登別市民会館	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12・13・14・15	40名
R8.2.19	鷺別コミュニティセンター	16・17・18・19・20・21・22・23	28名

- ・ 互助会活動として旅行や交流会を実施しました。

○研修旅行会 令和7年10月10日（金）

参加人数 26名

○会員交流会 令和8年1月16日（金）

参加人数 50名

- ・ 地域班独自の懇談会や講習会等の開催にあたっては、センターの助成制度の積極的な活用を周知しましたが、開催には至りませんでした。

②同好会活動活性化のための支援

- ・ 同好会活動活性化のため継続調査で希望する同好会のアンケートを実施し支援に努めました。

③ボランティアによる地域社会への貢献活動の推進

- ・ 地域社会に親しまれるシルバー人材センターを目指し、市民の理解と関心の向上のため会員と役職員が協力し合い、ボランティア活動を実施しました。

アイラブロード（市道カルルス線）の美化事業への参加をしました。

実施日 令和7年7月8日（火）

場 所 市道カルルス路線（旧労働福祉センター～旧陸上競技場）

内 容 植樹・除草・花苗の植込み等

参加人数 25名

- ・ 交通安全啓発活動（人と旗の波街頭啓発運動）

○令和7年7月16日（水）イオン登別店前 参加者 15名

○令和7年8月27日（水）鷺別小学校前 参加者 4名

○令和7年9月17日（水）旧婦人センター前 参加者 9名

○令和7年10月8日（水）幌別小学校前 参加者 11名

④会員対象の各種講習会の開催

- ・ 会員同士の交流を図るため、各種講習会等を開催しました。

家庭菜園講習会

実施日 令和7年4月25日（金）

講 師 胆振農業改良普及センター 主査 竹原 顕 氏

胆振農業改良普及センター 専門普及指導員 伊藤 登 氏

参加人数 23名

- ・ 発注者から信頼される就業に向け、会員の技能・技術等の向上を図るための技能

講習会を実施しました。

○第1回草刈講習会

実施日 令和7年5月21日（水）

場 所 鉄南ふれあいセンター及び旧ニナルカ会館敷地

参加人数 22名

○第2回草刈講習会

実施日 令和7年8月26日（火）

場 所 鉄南ふれあいセンター及び旧ニナルカ会館敷地

参加人数 7名

○第1回剪定講習会

実施日 令和7年6月3日（火）

場 所 西公園（登別市中央町3丁目）

講 師 剪定班 茨目 隆 氏

参加人数 8名

○第2回剪定講習会

実施日 令和7年9月9日（火）

場 所 亀田記念公園

講 師 剪定班 茨目 隆 氏

参加人数 9名

2. 就業機会の確保・拡大

会員の拡大と就業先の確保は、両輪の関係にありますので、発注者のニーズと会員のニーズに対応しながら、就業機会の確保・拡大を図りました。

（1）就業開拓

①就業開拓推進員（担当職員）の配置

- ・ 令和7年度は配置していませんが、今後に向け専属の担当職員の配置を検討します。

②会員ニーズの高い就業分野の拡大

- ・ 継続調査時に全会員の希望職種のアンケートを実施し、会員の希望に沿うようマッチングに努めるとともに、就業機会の拡大について、発注企業への働きかけを行いました。

③女性に特化した就業機会の確保（生活支援サービスの促進等）

- ・ 生活支援サービスについて、福祉関係事業所との連携を図り、女性に特化した就業機会の確保に取り組みました。

④過去の発注先への訪問

- ・ 今年度は未実施ですが、今後、取り組みを進めます。

（2）情報収集・情報発信

①センターで受注できる分野の積極的な情報発信

- ・ 市広報紙「のぼりべつ」の令和7年9月号に全世帯分にパンフレットを配布。また、登別ショッピングセンターアーニス店内に、パンフレット及び会報「よろこび」を設置し、会員の増加及び受注の拡大を図りました。（折込み部数 18,300部）
- ・ 公共施設10施設に会報「よろこび」及びパンフレットを設置し、会員の増加及び受注の拡大を図りました。

②地域における人手不足分野の情報収集

- ・ 今年度は未実施ですが、今後、市、商工会議所などと連携し情報収集を行います。

（3）ミスマッチの防止・解消

③就業開拓チームで作成（令和5年4月）した「基本的な対策」の活用

- ・ 未就業会員への就業先の情報提供を行い、各種講習会等への案内や希望職種以外での就業案内を行いました。

（4）独自事業の開拓と推進

①シルバー農園等独自事業の開拓

- ・ 令和5年度からシルバー農園事業化のため、試行、検討を重ねてきましたが、令和7年度の試行をもって事業化は難しいとの判断から断念することとしました。

②パソコン教室の事業化推進

- ・ 令和7年度のパソコン教室を計画しましたが受講希望者が少なく実施には至りませんでした。令和8年度も実施に向けた取り組みを進めます。

3. 安全・適正就業の確保

会員の高齢化に伴い、事故発生リスクが高まる可能性は否定できませんので、これまで以上に、会員一人ひとりの注意喚起や安全意識を高め、事故「ゼロ」を目指すとともに、適正就業ガイドラインに沿った就業となるよう安全・適正就業の確保を図ります。

(1) 安全就業の推進

①安全宣言大会の開催（安全就業スローガン、安全標語の募集・表彰等）

- ・ 会員の安全就業啓発のため、定時総会に併せて「安全宣言大会」を実施し、事故防止の意識高揚に努めました。
- ・ 会員に対し、「安全標語」の募集を行い入選作品については、会員に周知し優秀な作品に対して表彰を行いました。

②安全就業実施計画の作成（毎年）と計画的な実施

- ・ 事業執行計画（安全就業実施計画）を作成し、年間を通して安全就業の推進を図りました。

ア 安全パトロールの実施

- ・ 安全就業委員会において、安全就業委員及び安全対策推進員による就業シーズンの最盛期である7月から10月の繁忙時期に重点実施期間を設け安全パトロールを実施しました。

実施日 令和7年7月17日（木）、令和7年8月20日（水）
令和7年9月18日（木）、令和7年10月10日（金）

場所 12カ所

人員 10名

イ 安全だより（事事故例の速報やヒヤリハット等）の発刊

- ・ ヒヤリ・ハット体験事例の報告を求め、安全意識高揚に努めましたが会員からの報告はありませんでした。また、年4回発行の「安全だより」及び「事故速報」等を発行し、安全就業に関する意識の高揚を図りました。

ウ 各種技能講習会の実施（草刈、剪定）

- ・ 発注者から信頼される就業に向け、会員の技能・技術等の向上を図るための技能講習会を実施しました。

○第1回草刈講習会

実施日 令和7年5月21日（水）

場所 鉄南ふれあいセンター及び旧ニナルカ会館敷地

参加人数 22名

○第2回草刈講習会

実施日 令和7年8月26日（火）

場所 鉄南ふれあいセンター及び旧ニナルカ会館敷地

参加人数 7名

○第1回剪定講習会

実施日 令和7年6月3日（火）

場所 西公園（登別市中央町3丁目）

講師 剪定班 茨目 隆 氏

参加人数 8名

○第2回剪定講習会

実施日 令和7年9月9日（火）
場 所 亀田記念公園
講 師 剪定班 茨目 隆 氏
参加人数 9名

エ 交通安全の推進（交通安全講話の開催等）

- ・ 多発する交通事故、高齢者ドライバー運転等についての交通事故防止のため、関係機関の協力を得て「交通安全講話」を開催しました。

実施日 令和7年11月26日（水）
場 所 鉄南ふれあいセンター 3階ホール
講 師 室蘭警察署 交通第1課 企画・規制第1係長
北海道警部補 古賀 八洲雄 氏
参加人数 34名

オ 会員の健康管理の促進（健康診断の奨励や健康講話の開催）

- ・ 就業にあたって会員の健康管理が最も大切です。年1回は自主的に健康診断を受診するよう安全便りに記載し配布しました。
○登別市担当グループの協力を得て、会員の健康維持のための「健康講話」を開催しました。

実施日 令和8年1月22日（木）
場 所 鉄南ふれあいセンター 3階ホール
講 師 登別市保健福祉部健康長寿グループ
管理栄養士 鶴野 麻里奈 氏
保健師 須田 郁美 氏
内 容 認知症、聞こえ、食事について
参加人数 25名

○登別市消防署の協力を得て、救命処置要領等の修得のための「救命講習会」を開催しました。特に、AED設置施設に就業する会員に対し、受講の徹底を図りました。

実施日 令和8年3月10日（火）及び11日（水）
場 所 登別市消防庁舎
講 師 登別市消防職員
内 容 普通Ⅰ救命講習
参加者 27名

③作業別安全就業基準の遵守の徹底

- ・ 新入会員に「安全のしおり」の配布を行うとともに草刈り、剪定等講習会等の際に関連する安全就業基準のルール of 徹底を図りました。また、講習会時には安全就業委員から「一口講話」を行い、安全就業の意識を高め災害・事故防止に努めました。
- ・ ヒヤリ・ハット体験事例を「安全だより」において報告を求めましたが、会員からの体験事例の報告はありませんでした。

④就業現場の下見や就業形態等の確認

- ・ 新規受注にあたっては、事前に発注者宅を訪問・下見し、仕事の内容や就業形態等を確認してから会員への提供に努めるなど、会員の安全かつ適正就業の確保に努めました。
- ・ 公共施設就業現場の実態把握及び就業上における改善点等の確認のため、パトロールを実施しました。

実施日 令和7年9月16日（火）
実施施設 9カ所

- ・ 安全就業委員会において、安全就業委員及び安全対策推進員による年4回の安全パトロールを実施しました

（2）適正就業の推進

①適正就業ガイドラインに沿った就業の推進（受注できる業務の範囲や請負・派遣事業の適切な区分）

- ・ 受注時に業務の内容を精査し又は発注者へ訪問して詳細な打合せの上、請負、委任又は派遣の選定をしました。

(3) 災害・事故発生状況

①物損事故発生状況（2件）

件数	発生日時	性別	事故の状況
1	令和7年5月29日 (木) 9:20頃	男	美園町2丁目除草（機械）作業中、刈払機（チップソー使用）を使って作業をしていた時、石等が飛び駐車していた車両運転席ドアに傷をつけた。
2	令和7年6月6日 (金) 15:00頃	男	登別市札内町にある登別太陽光発電所で除草作業中、歩行型刈払機を使って作業をしていた時、雑草の陰にある配線に気づかず配線を切断した。

②車両事故発生状況（1件）

件数	発生日時	性別	事故の状況
1	令和7年7月9日 (水) 11:30頃	男	美園町6丁目、草取作業の廃棄草を運搬するためトラックで訪問し廃棄草を積みこみ、トラックを玄関前に移動し報告書をポストに入れるためトラックを離れた時トラックが動き出し10m先の左擁壁に助手席側前面が衝突した。

③災害事故発生状況（3件）

件数	発生日時	性別	事故の状況
1	令和7年7月14日 (月) 10:00頃	男	若山町3丁目除草（機械チップソー装着）作業中、車と車の間（幅1m×奥行5m）の草刈りをしていた時、刈った場所の草を集めようと被災者が草刈りを行っていた会員1m以内に近づき中腰にかがんだ時、草を刈っていた会員の刈払機が左頭部上側に接触し負傷した。
2	令和7年7月18日 (金) 15:00頃	男	地獄谷遊歩道のごみ拾い作業中ゴミが遊歩道の柵を越えていた為、柵外を歩いていたところ地面が突然30cm沈み込み履いていた長靴の甲部分の穴が開いていたところから高温の温泉水が入り左足甲部分を火傷した。
3	令和7年12月5日 (金) 12:00頃	女	施設内清掃で掃除道具を洗おうと壁に立て掛けていたモップ棒を横方向にした時、後方にいた被災会員の頭部にモップ棒の柄の部分が当たった。

4. 運営体制の充実・強化

効率・効果的な事業運営を展開していくため、組織活動や財政基盤、事務局体制の充実・強化を図ります。

(1) 組織活動の充実・強化

①会員の積極的な運営参画の促進

- ・ 各種研修会や委員会等への参加促進のため、全会員への資料等の配布を実施しました。
- ・ 地域班独自の懇談会や交流会等の開催にあたっては、センターの助成制度の積極的な活用を周知し、支援に努めました但し実施には至りませんでした。

②女性会員の積極的な登用による理事会・各部会・委員等の活性化

- ・ 各部会、委員会において女性会員の登用に努め活性化を図りました。

③ 理事研修会の実施

- ・ 各部会、各委員会の組織運営の活性化に努め、合同会議の開催や理事の資質向上及び新年度からの新契約方法、フリーランス法の研修を実施しました。

令和7年度理事研修会 令和7年7月28日（火）

（2）財政基盤の充実・強化

①インボイス制度施行による配分金等の仕入れ税額控除の段階的な廃止にともなう財源確保やフリーランス新法に対応するため発注者・会員・センターの三者間の契約方法を見直しました。

- ・ 令和8年4月1日に向けて発注者公共2回、民間24社へ訪問説明、60社への資料の配布を行いスムーズな新契約への移行に努めました。

②登別市等関係機関との連携強化（情報収集及び要請活動等）

- ・ 財政基盤の確立を図るため、国、市からの補助金の増額や事業拡大に努めました。また、全国シルバー人材センター事業協会の要請活動と併せ、登別市長に独自要請を行いました。

市への要請 令和7年10月28日（火）

③一般運営費の見直しや経費節減などによる事業運営の簡素化・効率化

- ・ 令和7年4月1日から事務費率の3%アップを実施しました。
- ・ 送付物を集約するなど郵便物の発送を極力少なくするように努めました。
- ・ 必要業務のシステム改修を必要に応じて行い、事務の効率化を進めました。

（3）事務局体制の充実・強化

①職員の資質向上及び計画的な人材確保

- ・ 事務局における情報の共有化を図り、各種研修会等への参加によって、職員の事務処理能力の向上に努め、業務の円滑な運営と効率化を促進しました。
- ・ 北海道シルバー人材センター連合会の主催する各種の会議等に積極的に参加し、職員としての資質向上に努めました。

②デジタル化の促進（センターと会員間、会員同士等）

- ・ 会員クラウドサービスの案内を会報「よろこび」や地区懇談会で周知を図りました。
- ・ 事務手続き等でセンターを訪れる会員に会員クラウドサービス利用を促しセンターホームページで情報提供していることなどを周知しました。
- ・ 職群班による連絡網（LINE）の構築に努めました。